

朝日放送グループ マテリアリティ 【主な取り組み と KPI/達成目標の一覧】



マテリアリティ	主な取り組み	KPI/達成目標
<p>未来を創る人財を育てる</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進による組織活性化 ✓ 適応力とチャレンジ精神を生む企業風土の醸成 ✓ 人も組織も成長できる職場環境や制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な人財が活躍できる環境の整備 ● チャレンジとその成果が適切に評価される人事評価制度、昇進制度の整備 ● 従業員の自律的なキャリア形成を支援する研修制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員エンゲージメントのスコア向上 (HD社、TV社)
<p>コンテンツの力で豊かな明日を創造する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 世界に感動を届けるコンテンツや体験の提供 ✓ 希望あふれるインクルーシブな社会への貢献 ✓ 子どもたちの健やかな成長の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客理解に基づく多様なコンテンツ、サービスの開発およびマルチ展開 ● グループ連携や国内外のパートナー企業との協業による創り手の多様性確保 ● 子どもたちに様々な体験や学びを提供する各種コンテンツの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外コンテンツマーケットへの出品数 ● アスミライ企画の定期的な実施* <p><small>*「今日より良いアスのために、ミライのために、できることを続けていく」をテーマとした、社会課題解決に向けた当社グループの取り組み</small></p>
<p>地球の健康を取り戻し次世代へつなぐ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地球環境や生物多様性を守る情報発信 ✓ 命と暮らしを守る防災・減災報道の強化 ✓ カーボンニュートラル実現など環境に配慮した事業活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球環境や生物多様性をテーマにした各種コンテンツの継続的発信 ● 防災・減災をテーマにした各種コンテンツの継続的発信 ● 大規模災害発生時に放送と事業が継続できる体制や設備の強靱化 ● 当社グループの温室効果ガス排出量把握と削減への取り組み推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社グループのCO₂フリー電力率：2025年までに100% ● 当社グループの温室効果ガス排出量：2050年までに実質ゼロ
<p>信頼されるメディアグループであり続ける</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ メディアとしての公正、公平性の堅持 ✓ テクノロジーやライフスタイルの変化に対応した情報伝達 ✓ 健全な情報社会の育成と、情報格差の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組基準の遵守、番組審議会や放送番組検討会議の定期的な開催 ● 多様化する情報アクセス方法や楽しみ方についての分析と対応 ● フェイク情報への対応や情報リテラシー向上に寄与する取り組みの実施 ● 安定放送の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放送分野における情報アクセシビリティの拡充 (TV社) <ul style="list-style-type: none"> ・ 字幕 対象の放送番組の全てに字幕付与 ・ 解説放送 2027年度までに対象の放送番組の15%以上に解説付与 ・ 手話放送 2027年度までに1週間当たり平均15分以上に手話付与
<p>人権を尊重しすべての人々が幸福に生きる社会をめざす</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 人権への理解向上と人権侵害の防止 ✓ サプライチェーンに関わる人々の健康と安全への配慮 ✓ 厳正な情報管理によるプライバシーの保護 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ全社およびサプライチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施 ● 人権研修の実施 ● 安全対策ガイドラインの作成と徹底 ● プライバシー保護規定の遵守と個人情報保護の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権デューデリジェンスの体制構築に取り組み、2025年度までにグループ全社の人権に関するリスク評価を実施
<p>ガバナンスを強化し持続的な成長を実現する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ コーポレートガバナンスの高度化 ✓ コンプライアンス、情報セキュリティの強化 ✓ ステークホルダーとの対話や情報開示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会の機能強化を目指した実効性評価とそのフィードバックによる改善 ● グループ全体でのコンプライアンス研修や情報セキュリティ研修の実施 ● IR投資家ミーティング等のステークホルダーエンゲージメントの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会の実効性評価の実施 (毎年) ● 経営トップによるアナリスト・投資家向け決算説明会の継続(年2回) ● 情報セキュリティ研修グループ全社受講率：100% ● コンプライアンス研修グループ全社受講率：100%
<p>テクノロジーの活用で未来を照らす</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル技術活用によるビジネス機会の創出 ✓ 事業におけるDXの推進 ✓ DXリテラシーの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術部門と事業部門とが連携する事業開発の推進 ● CDP等の活用によるグループのデータ利活用促進 ● DX研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術活用による、業務効率化件数およびコンテンツ制作ワークフロー改善件数
<p>輝く地域づくりに貢献する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の魅力や課題の発信 ✓ 地域の文化、経済の活性化への寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ連携強化による地域の魅力や課題をテーマにした各種コンテンツの継続的発信 ● 地域の文化、芸術、スポーツの振興や、経済活性化につながる取り組みの推進 	